

平成30年度事業計画

岡山商科大学専門学校

1 現状と課題

(1) 在学生数推移

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
1 学年	40 (27)	71 (54)	50 (35)	87 (69)	74 (63)
2 学年	31 (23)	38 (25)	62 (46)	42 (29)	76 (58)
キャリア専攻				11 (11)	8 (8)
計	71 (50)	109 (79)	112 (81)	140 (109)	158 (129)

各年度数字は5月1日現在 () は留学生

- ① 全校生徒数は、日本人の入学生は減少したが大学編入学科（留学生）の入学生が昨年並みに確保でき、全体としては昨年を上回る158名となった。
- ② 平成32年度までに学生数を150名とする「岡山商科大学専門学校 学校安定化推進計画」の基本目標を、2年早く達成できた。

(2) 学科について

- ① トラベル観光学科
 - ・平成29年度は1年に10名在籍し、国内旅行業務取扱管理者の国家資格に全員合格するなど成果が上がったが、入学者は3名に減少してしまった。
- ② まんが・ネットショップ学科
 - ・改編した平成29年度は4名の在籍だったが、入学者は6名に増え、更に増加するよう広報に努めたい。
- ③ 事務職養成学科
 - ・平成29年度の入学者は4名だったが、今年度の入学者は2名にとどまり、減少傾向が続いている。学科改編の検討が必要になった。
- ④ 大学編入学科
 - ・創設以来最大の121名（入学者66名、在校生55名）を確保できた。学力を向上させ、進路を確保したい。
- ⑤ キャリア専攻学科
 - ・ベトナム人留学生が岡山商科大学へ2名編入学でき、一定の成果が認められた。

(3) 施設設備について

- ① 学生が増加したため、委託訓練に使用していた第4多目的教室をパソコン教室に変更し、従来のパソコン教室をHRに転用した。
- ② 懸案であったコンピュータの更新ができたので、エアコンと照明の更新を年次計画で進めていく。

2 事業計画

(1) 受託事業

岡山県委託職業訓練は、学生の増加に伴い訓練用の2教室確保が難しくなり、1教室

で5講座を提案したが受託することができなかった。追加募集に2講座提案しているが、受託できるか不透明な状況である。

(27年度は5講座、28年度は3講座、29年度は5講座受託)

(2) 附帯教育

岡山商科大学社会総合研究所主催の資格取得支援(商大塾)について、大学と連携して大学生や一般社会人の受講者増を図る。

(3) 連携教育

① 岡山商科大学附属高等学校

ア. 連携教育指定講座の実施

課題研究(3年生2単位)の中で、「ホームページ制作能力認定試験」合格を目指して「ドリカムゼミ」を実施した。受講者のうち2名が本校に入学し、連携教育特待生として授業料の一部を免除することになった。

イ. 資格講座の実施

リテールマーケティング(販売士)2級講座を計画したが、希望者が少なく開講できなかったため、30年度は実施したい。

ウ. インターンシップ(体験授業)

2年生14名が8月2日～3日、3名が2月13日～14日のそれぞれ2日間にわたり、本校の様々な学科の授業を体験した。30年度も計画したい。

② 岡山御津高校

10月25日(水)に1年生23名が、「上級学校見学」に来校し、本校の説明・見学と「社会人としてのマナー」について講義を受けた。初めての要請だったが今後も継続したい。

(4) 地域との連携・協力

① 岡山市伊島保育園の緊急避難場所として、敷地・建物の使用を許可する。

② 新たな連携が構築できるよう計画する。

(5) 広報活動(入学者確保)

① 日本人用、留学生用のガイダンスとも参加を増やし、入学生の確保を図る。

② 新聞系の広告を縮小し、ネット系を拡大する。

(6) 教育の質向上

① 常勤・非常勤とも教員の入れ替わりがあるので、質の低下がないよう教員間の連携を図り、教科指導のみならず生徒指導・進路指導等トータルな指導力の向上を目指す。

② 留学生の4教室にプロジェクターを整備し、ICTを活用したわかりやすい授業を行う。

③ 平成29年10月にベトナム人職員を採用できたので、留学生に対してきめ細かい指導をしていく。

(7) 人事管理

① 目標管理によりPDCAサイクルを構築し、スパイラルレベルアップを図る。

② 少人数の利点を活かし、明るく風通しの良い職場環境を構築する。